

山口議員 21 年度決算特別委員会で登壇

福岡市議会 21 年度決算特別委員会が 10 月 6 日から 22 日まで開催され、山口議員が 7 日、総会質疑で登壇し、決算から本年に至るまでの施策について当局の対応を質問しました。



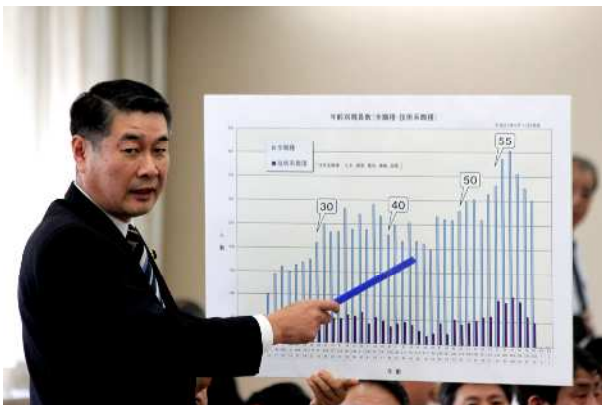
平成 22 年 10 月決算委員会にて

決算委員会での質問は以下の 3 項目で

- 市職員の採用と技術の伝承に関して
- 入札制度の総合評価方式と地場企業の受注増について
- 市営渡船事業の収入増について

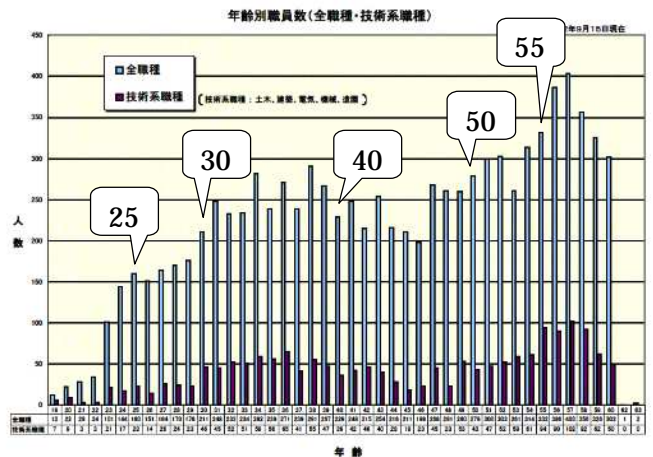
当局の対応を質問しました。

職員の年齢別と一般・技術の別に分けてグラフを提示し、計画的でない人口構成になっていることを指摘。55 歳以上は 300 人を超えており 30 歳未満は 150 人程度。また 44 歳から 46 歳が谷間になり中間層が少ないことが判明



グラフを用いて年齢別・技術系に割合を説明

技術職員もその構成に比例していました。職員数が減少しているため今後は技術の伝承について OB を招いての講習や職場体験のフォロー研修など実施したい旨の答弁がありました。市民サービスが低下していかないよう今後も注視してまいります。



福岡市の入札制度では、一般競争の入札金額を 1500 万円以上と拡大しています。同価格の場合、これまでくじ等を利用していましたが、現在は総合評価方式で落札者を決定しています。企業評価項目と技術評価項目があり特に技術提案と施工計画が大事です。質疑の中で入札参加者に結果の説明と透明性を訴え、22 年度も更に改善が見込まれるようになりました。また、大手が落札した場合でも地場企業の下請け率も評価の対象となりました。

これからも地場企業の受注増について積極的に実施することはもとより、何よりも福岡経済を拡大させるよう市長に決意を尋ねました。

今後も施策をしっかりと行うよう議会を通して発言してまいります。



市営渡船事業の収入増について当局の対応を質問しました。渡船事業は毎年赤字が続いており 21 年度は一般会計から 9 億円の支出を行っています。運賃収入では、改善が見込まれないため利用者を増加する施策や公設民営を行っている三重県津市の航路を視察した結果を紹介。本市でも何らかの手立てが必要と経済振興局と港湾局に提案を含め対策を求めました。今年度は外国語表記の乗り場案内も設置されるようになりました。



(お知らせです)
貸切船 あります！貸切運賃(30分単位です)
 (問合せ)福岡市客船事務所までお願いします！
 ☎(092)291-1085 fax(092)281-5329

公明党福岡市議団の実績 保健・福祉編

公明党福岡市議団は毎年、新年度予算に対し要望を市長に提出しています。その中で実現した施策も数多くありますので、ご紹介します。今回は保健・福祉の実績を特集いたします！

妊婦検診に公費助成が実現

これまで5回分の助成が、
 出産まで必要な検診数14回まで
 公費助成を拡充



ガン検診の公費助成を実施

子宮頸部がん検診は保健福祉
 センターでも実施し、乳がんは
 マンモグラフィーも
 導入し病気の早期
 発見を促進



特定不妊治療費の

助成を拡大

体外受精、顕微鏡受精の特定不妊治療を
 受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成する
 期間を5年に延長

乳幼児医療費助成範囲の拡大

平成19年8月から
 小学校就学前まで初診料、
 往診料、通院費、入院費
 全部無料化を実現



小規模作業所補助金の継続

障がい者の社会参加、福祉的就労の場
 ある小規模作業所に対し助成を行うととも
 に、法的施設への
 移行を促進



自殺予防対策事業を推進

自殺対策基本法に基づく自殺対策協議会
 の設置、うつ予防教室の開催を推進